

○提案内容

**(1)実現したい都市のビジョン**

過疎化が進む離島で、無人のバスが地域の移動手段として活動するとともに、地域の高齢者を見守る、安心して暮らしやすい地域の実現

**(2)新技術の導入により解決したい都市の課題**  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>(ア)交通・モビリティ                      過疎化が進む離島地域では、運転手や燃料の確保が困難で、自立、持続できる公共交通が運行ができない</p> <p>(オ)観光・地域活性化                      離島地域の人口減少や高齢化が進み、観光資源も乏しく、地域が衰退している</p> <p>(カ)健康・医療                      離島地域では、通院が困難で、閉鎖的な空間から出かける機会も少なく、健康維持の弊害になっている</p> <p>(コ)物流                      離島地域は、人口減少に伴い輸送量が減少し、輸送コストが割高になり収益の確保が困難                      離島地域は、商店が無く、島内での買い物ができない</p>	<p>(ア)                      (オ)                      (カ)                      (コ)</p>

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

無人運転技術、自動充電、顔認証や指紋認証システム、自動ヘルスチェック、AIロボット(問診や会話、医師や住民への救援要請など)、太陽光パネル、蓄電池

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

離島地域の課題解決は、個別での対応に限界があるため、全体的にパッケージ化して対応するほうが効率的であり、無人バスはそのツールとして可能性があり、無人バスを基点に、それぞれ次のような課題解決方法がある

(ア) 交通・モビリティ

運転手の確保が困難な過疎化が進む離島地域で、無人バスによる移動手段を確保する

(オ) 観光・地域活性化

本取組みにより、全国から視察や見学、観光目的の訪問などによって、交流人口の拡大を図り、離島航路の維持や地域活性化を行う

(カ) 健康・医療

地域の高齢者が無人バスに定期的に乗ってもらうことで、顔認証、ヘルスチェックなどを定期的に行うとともに、一定期間乗車しないなど異常があれば、地域の方や医療機関などへ連絡し、適切な処置を行う

(ク) 環境

燃料の輸送が困難な離島部で、電動の無人バスを導入し、太陽光発電や蓄電池を活用することで、環境にやさしいモビリティの提供する

(ケ) セキュリティ

地区内を移動する無人バスに搭載された車載カメラによって、犯罪の防止や安全で安心な居住環境を提供する

(コ) 物量

無人バスは貨客混載とし、ラストワンマイルの輸送を行うとともに、移動販売車としても活用する

(5) その他

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
まちづくり部都市計画課 公共交通係	金原 哲治	095-822-8888(内線3421)	<a href="mailto:toshimasu@city.nagasaki.lg.jp">toshimasu@city.nagasaki.lg.jp</a>